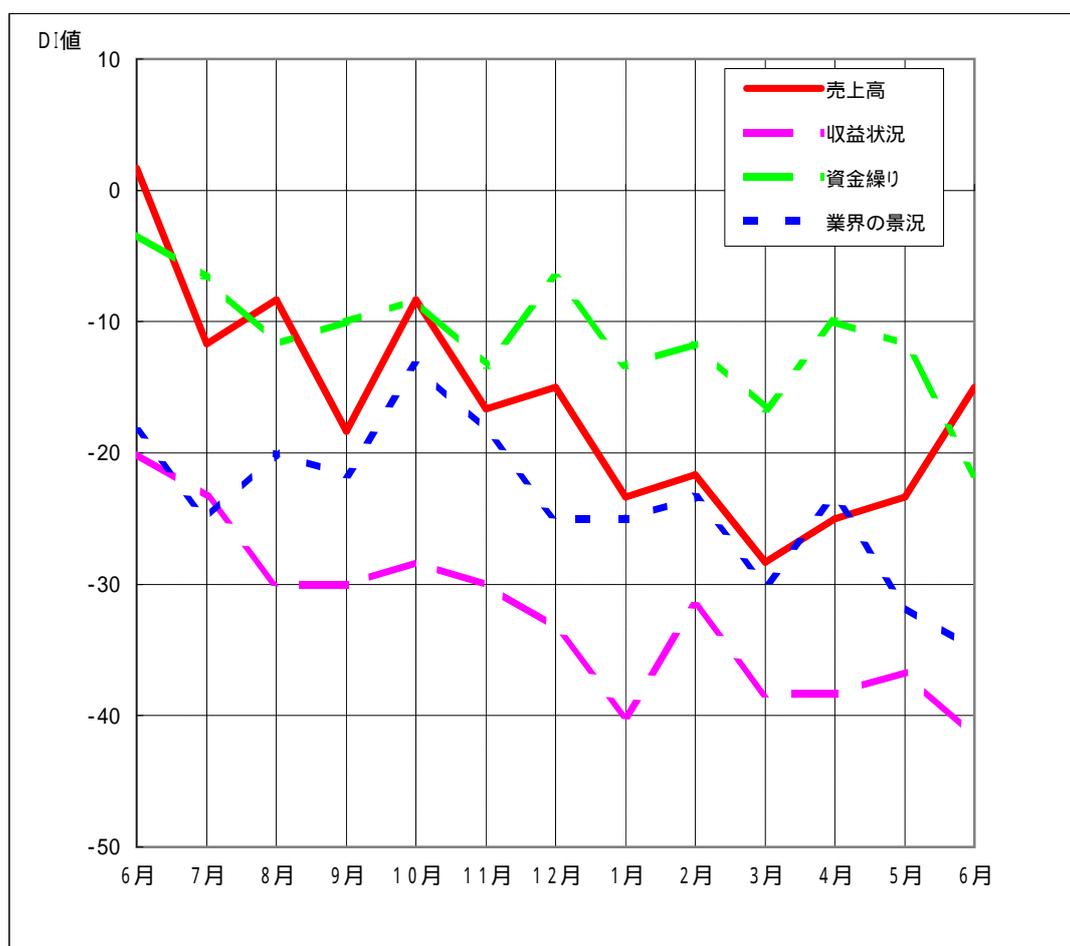


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年6月～平成19年6月

単位:ポイント



	H18						H19						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0
収益状況	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7
資金繰り	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7
業界の景況	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0

6月のDI値をみると、前年同月より上記全項目で悪化した。「売上高」については前年同月より16.7ポイント悪化し、マイナス10%台へと推移した。「収益状況」については、21.7ポイントの悪化でマイナス40%台へ、「資金繰り」については、18.4ポイント悪化でマイナス20%台に、「業界の景況」については16.7ポイントの悪化でマイナス30%台にそれぞれ推移した。

ここ3ヶ月の傾向をみると中小企業の業況は、売上高を除く3項目で下降傾向にあり、コスト高の影響で収益性に乏しく、厳しい状況であることが窺える。

組合の特記事項から、製造業では「鉄鋼・金属」の一部業種で好調である旨の報告が見られたが、依然として原料価格の高値が続き、収益状況を圧迫している。また受注減との報告も多く見られた。

非製造業においては、前月に引き続きコスト高・価格競争等に関する報告が多く、「収益状況」悪化・「業界の景況」悪化とする回答が多く見られた。

中小企業の景況は、依然として続いている原材料価格の高値推移を中心に、先行き不透明で厳しい状況となっている。